

青森市雨水出水浸水想定区域の指定について

浸水想定区域の指定について

【背景】

近年の気候変動の影響により全国各地で水災害が激甚化・頻発化し、今後さらに増大することが懸念され、治水政策を抜本的に見直す必要があったことから、令和3年に水防法が改正され、下水道等による浸水対策を実施している全ての地方公共団体が、雨水出水浸水想定区域（いわゆる内水氾濫区域）を指定することとされた。また想定区域指定後はハザードマップの作成（見直し）・インターネット等による公表が国から要請された。

【目的】

浸水想定区域制度は、各水害（洪水、雨水出水、高潮）に対応し、避難場所や避難路の設定等の措置を講じることで住民等の円滑かつ迅速な避難の確保を図ること等を目的とする。

浸水想定降雨条件・指定区域について

【降雨条件 想定最大降雨】

降雨条件は国が地域ごとの最大降雨量を示す「浸水想定（洪水、内水）の作成等のための想定最大外力の設定手法」に基づき、**時間最大150mm/h**とした。

【指定区域について】

「青森市公共下水道基本計画」の雨水計画区域を想定範囲とし、**浸水深10cm以上の区域と浸水深を指定した。**

(右図)

【指定の告示日】

令和8年3月30日 区域図をHPで公表

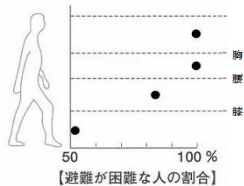
◆今後のスケジュール

R8年度中・・・浸水ハザードマップの作成・配布

（洪水・内水ハザードマップを合冊した、浸水ハザードマップを作成・配付）

浸水深と避難行動について

浸水深が大きくなると、歩行や自動車の走行に支障を来し、避難行動が困難になります。



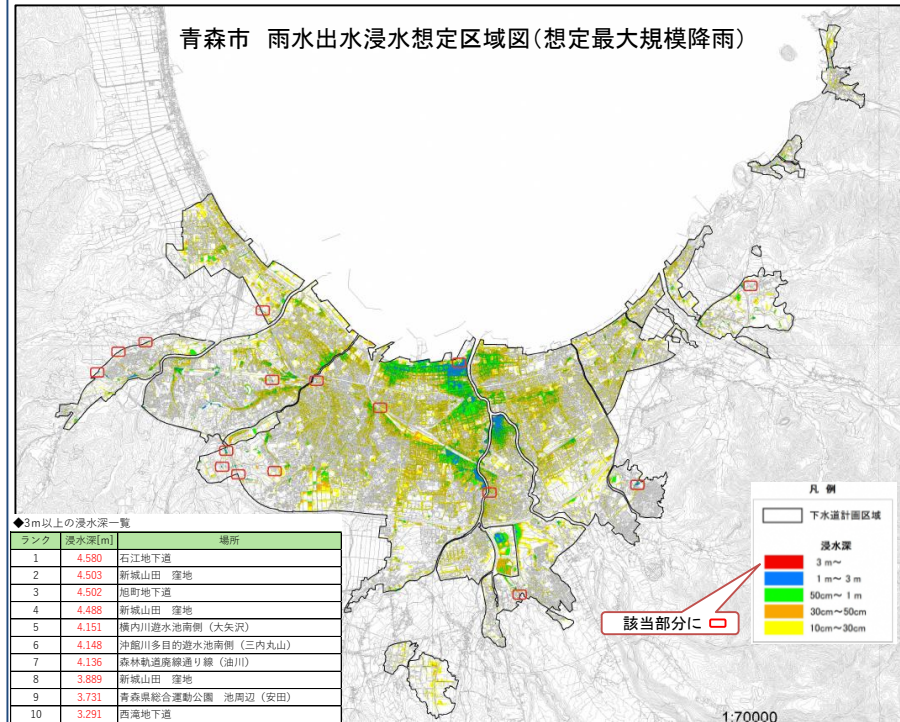
(洪水ハザードマップ作成の手引き (改訂版) より)

浸水深	自動車走行
50cm～	車が浮き、また、パワーウィンドウ付きの車では車の中に閉じ込められてしまい、車とともに流され非常に危険な状態となる。
30～50cm	エンジンが停止し、車から退出を図らなければならない。
10～30cm	ブレーキ性能が低下し、安全な場所へ車を移動させる必要がある。
0～10cm	走行に関し、問題はない。

国土交通省「川の防災情報」より

浸水シミュレーション結果

青森市 雨水出水浸水想定区域図(想定最大規模降雨)



◆3m以上の浸水深一覧

ランク	浸水深[m]	場所
1	4.580	石江地下道
2	4.503	新城山田 窪地
3	4.502	旭町地下道
4	4.488	新城山田 窪地
5	4.151	権内川遊水池南側 (大矢沢)
6	4.148	沖籠川多目的遊水池南側 (三内丸山)
7	4.136	森林軌道南線通り線 (油川)
8	3.889	新城山田 窪地
9	3.731	青森県総合運動公園 池周辺 (安田)
10	3.291	西滝地下道
11	3.270	笹井八ッ橋
12	3.251	新青森総合運動公園 調整池周辺 (宮田)
13	3.211	戸山赤坂 窪地
14	3.126	沖籠川多目的遊水池南側 (三内丸山)
15	3.043	観音ポンプ場 旧ポンプ場 (青柳)
16	3.013	沖籠川多目的遊水池南側 (三内丸山)

該部分に

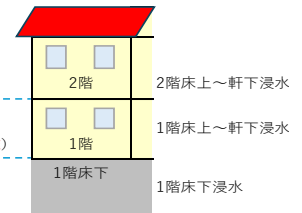
1:70000

浸水深別浸水想定区域指定面積

浸水深(m)	面積(ha)
3～	0.77
1～3	59.95
0.5～1	264.34
0.3～0.5	351.71
0.1～0.3	994.55
合計	1,671.32

在宅避難不可

大人の腰までつかる (歩行困難)

大人の膝までつかる
車のブレーキ性能低下

※国土交通省の「水害ハザードマップ作成の手引き」に基づく浸水深のランク区分(5段階)